



# 柏市立柏第八小学校

## ひろげよう世界の輪



佐藤 理香 先生

ここがポイント!

R2年度からの2年越しの取り組みです。

「広げよう 世界の輪」というテーマで、昨年の取り組みをさらに深め異文化を知り、日本との違いや共通点、お互いの良さを認め、国際社会の一員としてできることを考えさせる実践としました。

昨年交流した講師9人の中で、クラスごとに再度交流したい方にオファーをし、オンラインで交流をしました。

また、今回の取り組みは国際交流とともに、本校の研究教科である外国語科と社会科・総合的な学習の時間の教科を横断した実践で、外国語科の授業以外で対話するネイティブな外国の方の表現する内容を理解することができるのか、そして自分たちの英語が実際に外国の方に伝わるのかについての挑戦でもあります。

指導者 中村由美子  
中田 麻希  
児玉 光弘

## 1. 単元名 「ひろげよう 世界の輪」

### 2. 単元設定の理由

本校の学校教育目標は「心豊かで自ら学ぶ健やかな児童の育成」であり、今年度は「自分で考えて行動できる子」を重点目標としている。本単元は、学習活動を通して、これらを具現化することをねらいとしている。また、今年度の本校の研究主題は「積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童の育成～自発的に表現する場の設定や活動を取り入れた外国語の活動を通して～」であるので、外国語との関連を特に意識しながら、指導を進めていく。

小学校学習指導要領(平成29年度告示)には、以下のことが記載されている。

#### 第2 各学校において定める目標及び内容

##### 3 各学校において定める目標及び内容の取扱い

各学校において定める目標及び内容の設定に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

- (5) 目標を実現するにふさわしい探求課題については、学校の実態に応じて、例えば、国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色に応じた課題、児童の興味・関心に基づく課題などを踏まえて設定すること。

#### 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

##### 2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

- (8) 国際理解に関する学習を行う際には、探究的な学習に取り組むことを通して、諸外国の生活や文化などを体験したり調査したりするなどの学習活動が行われるようにすること。

昨年度この中の「国際理解」をテーマとして、自分の地域について調べたことを英語で外国の方に伝えるという内容で総合的な学習の時間の指導を進めてきた。これは、本校の地域には外国の方が多く住んでいることや柏レイソルのスタジアムがありサッカーの公式戦などのイベントが多々行われるため、多くの外国の方が訪れることなどの要因から、国際理解についての学習が必要であると考えたためである。

今年度も、引き続き「国際理解」をテーマとして指導を進めるが、昨年度から発展させて外国の文化や習慣、歴史、食べ物など様々な分野の中から自分の関心が高いものを中心に学習を進めさせることで、国際理解を深めさせたいと考え、本単元を設定した。中心となる学習では昨年度に引き続き、今年度もちば国際コンベンションビューローの「多文化共生出前講座」を活用し、ロシア、エジプト、台湾の3つの国や地域出身の方との交流の機会を設ける。出前講座の後には学んだことを他のクラスへ伝え合う活動を設定し、他国との比較を行うことで、多角的な視野での国際理解を促すことをねらう。

### 3. 児童の実態

本単元に先立ち、事前アンケートを行った。結果は以下の通りになった。(97名)

質問	とてもそう思う	そう思う	どちらでもない	あまりそう思わない
①外国や世界のことについて興味がありますか。	24 (0, 11, 13) 24.7	56 (29, 14, 13) 57.7	11 (0, 6, 5) 11.3	6 (3, 2, 1) 6.1
②外国の言葉や習慣を学んでみたいと思いますか。	30 (9, 10, 11) 30.9	45 (15, 13, 17) 46.3	14 (5, 6, 3) 14.4	8 (3, 4, 1) 8.2
③外国の人たちと遊んだり、勉強したりしてみたいと思いますか。	37 (15, 11, 11) 38.1	30 (11, 9, 10) 30.9	19 (2, 10, 7) 19.5	11 (4, 3, 4) 11.3
④世界には日本と違う生活習慣があることを知っていますか。	78 (31, 23, 24) 80.4	18 (1, 9, 8) 18.5	1 (0, 1, 0) 1	0 (0, 0, 0) 0

※ ( ) 内は左から1組, 2組, 3組の人数内訳, □はおよその%を表す。

事前アンケート①の結果から、8割以上の児童が外国への関心が高いことがわかる。また、事前アンケート④の結果から、ほとんどの児童が日本と外国との生活の違いについて理解していることがわかる。事前アンケート②③でもどちらの質問に対しても多くの児童が肯定的な意見であることがわかった。しかし、2～3割程度の児童については、否定的な回答をしていることもわかった。

これらの結果から、本校6年生の多くの児童は外国への理解があり、関心も高いということが言える。ただし、一定数の児童は外国の方との交流や外国に関する学習に対して抵抗感があるといえる。

実際外国語の学習の際には、自分で活動を進められたり、発表や話し合いができたりする児童もいるが、聞かれていることや表現の方法に困り、スムーズに学習を進められていない児童もいる。また、昨年度の総合的な学習の時間での活動においても、自分の話したいことの英訳や英文したり、その英語を発音したりすることに苦勞した児童もいた。このような実態も踏まえて学習活動を進めていきたい。

#### 4. 指導観

本単元では、「国際理解」をテーマとし学習を進める。今回の学習では個人での調べ活動やグループでの調べ活動・話し合い活動だけでなく、外国人講師を招聘し、現地の話を聞いたり、質問をしたりすることでより他国への知識を増やしたり、関心を高めたりできるようにしたい。また、他国についての情報を得た後に、他のクラスへの発表及び他国間や自国との比較の活動を実施することで、より理解を深めたり、新たなる関心が生まれたりできるようにしたい。これらの活動を通すことで、児童の国際理解の深まりをねらう。

本時ではみんなで考えた質問を英文にし、外国人講師に聞くという活動を入れる。いままで外国語で学んだことを活用することで、学習内容の理解を深めるとともに、「自分の英語は伝わる」という達成感を感じさせることで、自己肯定感も高めていけるようにしたい。

事前アンケートの結果から、少数だが外国に対して抵抗を感じている児童がいることが分かった。そのため本時では、抵抗を感じている児童に対して事前指導で知識を持たせて学習に臨めるようにすることで、活動を円滑に行えるようにし、学習への意欲を高めていきたい。

今年度はコロナ禍の影響もあり、児童の学習活動には様々な制限がかかっているが、フェイスシールドの着用やソーシャルディスタンスの確保を行ったり、一人一台端末を活用したりし可能な限りコミュニケーションの場面を設定して学習を進めていけるようにしたい。また、本時に関しては緊急事態宣言下の学習となるため、講師とのやり取りをオンラインで実施する。

#### 5. 他教科領域との関連

##### ○国語 「敬意を表す言い方」

- ・話す相手や場面に応じて、敬意を表す言い方を適切に使い分ける。

「地域の防災について話し合おう」

- ・立場や意見をはっきりさせて話し合ったり、パンフレットを作成して伝えたりする。

##### ○社会 「日本とつながりの深い国々」

- ・アメリカや中国など日本とかかわりの深い国について知り、世界には日本と異なる文化や習慣をもつ国が存在することや、他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であることを理解する。

「世界の未来と日本の役割」

- ・国際連合やSDGsなどの取り組みを知り、国際社会における課題について考え、課題を解決していくために、自分たちに協力できることが何かを追求しようとする。

##### ○外国語 「Let's go to Italy.」(6年)

- ・行ってみたい国や地域と、その理由を伝え合う。

「Welcome to Japan.」(5年)

- ・日本の四季や文化を紹介する。

##### ○道徳 「白旗の少女」

【内容項目】国際理解・国際親善 【主題名】平和と国際親善のために

「エンザロ村のかまど」

【内容項目】国際理解・国際親善 【主題名】世界の人々のために

## 6. 単元目標

- 自分たちが交流する外国の特色を知り、それらの特色や日本との違いなどに気付くことができる。  
【知識及び技能】
- 外国の方との交流を通して、その国の良さや特色、日本との違いなどに気付くことができる。  
【知識及び技能】
- 世界には様々な文化や習慣などがあることを知り、世界と日本とのつながりを考えることができる。  
【知識及び技能】
- 自分たちが交流する外国についてより知るために、どのようなことをどのように調べたらよいのか考えることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 自分たちが交流する外国に興味や関心をもち、疑問に思ったことや調べてみたいことをもとに課題を設定しようとすることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 課題を解決するために、交流する外国の方の話を進んで聞いたり、自分で調べたりして情報を集めることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 相手に伝わる話し方や言葉を考え、実際に交流する外国の方や他のクラスに質問したり発表したりすることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 交流する外国について他のクラスに紹介するために、必要な情報を集め、整理し、まとめることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 自分たちが交流する外国の文化や習慣、日本との違いなどを、目的に応じてわかりやすく表現することができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 自分たちの住む日本の魅力にも目を向け、自分が世界とどのように関わっていくかを考えることができる。  
【思考力・判断力・表現力等】
- 友達や交流する外国の方々に積極的に関わり、考えや意見を聞くことができる。  
【学びに向かう力、人間性等】
- グループの話し合いの中で、協調性やコミュニケーション能力を養い、日常生活に生かそうとすることができる。  
【学びに向かう力、人間性等】

7. 指導と評価の計画(全13時間)

時間	内容	指導上の留意点	評価		
			知	思	主
6時間	<p>「事前学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション(1時間)</li> <li>・外国人講師による授業があることを知り、講師の出身国についてグループに分かれて調べ、疑問や聞きたいことを英文にする。(5時間)</li> </ul> <p>*グループ：立地・気候、食べ物・服装、学校、遊び・スポーツなど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各クラスの希望した国について調べ、その国に対する基礎的な知識を得ることにより、「外国人講師による授業」への興味関心を高める。(図書資料及びPC使用)</li> </ul>		○	
2時間(本時)	<p>「外国人講師による授業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習で出た疑問や聞きたいことを代表児童が英語で講師に質問し、英語で質問に答えてもらう。(30分)</li> <li>・外国人講師の日本語による授業を聞く。(45分)</li> <li>・質疑応答、感想交流(日本語)(15分)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童は前時までに予習してあるため、本時の学習を通して対象国について「知っていること」「知らなかったこと」を明確にする。また、「想定内だったこと」「意外だったこと」等に気づかせることで、次時の学習への動機付けとする。</li> <li>・他のクラスへのプレゼンテーションを念頭に置き、外国人講師から生の情報を多く得させるようにする。</li> </ul>		○	○
3時間	<p>「事後学習(前半)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「外国人講師による授業」を経て、日本と似ていることと違うことに気づき、関心を持つ。</li> <li>・「外国人講師による授業」で新たに知ったこと、日本と似ていることと違うことなどを加え、他のクラスへプレゼンテーションする準備をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前学習や「外国人講師による授業」、その後の質問等をもとに他のクラスへプレゼンテーションできるように、自分がとったメモや写真を使うよう助言する。</li> </ul>	○	○	
2時間	<p>「事後学習(後半)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他のクラスへグループごとの屋台方式でプレゼンテーションを行う。</li> <li>・振り返りを行う。</li> </ul>	<p>屋台方式にすることによって、知りたいことを聞きやすい環境で知れるようにする。</p>		○	○

## 8. 本時について

### 〈1〉本時の目標

- ・外国の方との交流を通して、その国の良さや特色、日本との違いなどに気付くことができる。

【知識及び技能】

- ・交流する外国の方に積極的に関わり、考えや意見を聞くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】

### 〈2〉本時の展開

時配	主な活動	指導上の留意点	備考
3分	1 本時の活動内容を知る ・本時では事前学習で調べたことを元に、講師に英語で質問し、英語で答えてもらう。その後、日本語の出前授業を受け、他のクラスにプレゼンテーションできるように、質問する。  2 学習問題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">             ○○（国名）のことをもっとくわしく知ろう           </div>	○緊急事態宣言下のため、オンラインで実施する。 ○テーマごとのグループで着席する。 ○本時の流れを確かめさせることで、活動の見通しをもたせるようにする。	掲示物 スライドなど 1組：ロシア 2組：エジプト 3組：台湾
27分	3 8グループの代表が質問し、講師に答えてもらう <b>【質問例】</b> ・日本と台湾の環境の違いはどのような違いがありますか？ ・来てもらったら、必ずと言っていい程紹介したい場所はどのような所？	○質問は事前に講師へ渡しておき、本時で質問しない項目は、出前授業の中でふれてもらう。または、文書で答えてもらう。 ○事前に準備した以外の質問もするよう声をかける。 ○講師の答えを聞き逃したり、よくわからなかったりした時は聞き返すよう、声をかける。	質問シート
45分	4 講師の出前授業を受ける	○外国人講師の方の話を聞き、事前に調べた内容が正しいかどうか確認するよう声をかける。 ○他のクラスにプレゼンテーションすることを念頭に置き、メモを取ったり写真を撮ったりしながら話を聞くよう声をかける。 ○メモと写真撮影は、事前にグループの中で役割分担をさせておく。	メモ用のふせん Chromebook
10分	5 出前授業を受けて、質問したり	○他のクラスへプレゼンテーションするこ	

5分	<p>感想を述べたりする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他の国とはどのような関係ですか。</li> <li>・日本との違いで驚いたことは何ですか。</li> </ul> <p>6 あいさつをする</p> <p>7 振り返りをする</p>	<p>とを前提に、もっと詳しく知りたいことやわからなかったことを質問するよう声をかける。</p> <p>○講師の方の国について事前に調べた事柄から得た知識やイメージ(印象)がより明確になるよう、質問する際、質問の内容に関しての自分の考えを述べてから質問するよう助言する。</p> <p>○質問役の児童以外はメモをとるように声をかける。</p> <p>㊦交流する外国の方に積極的に関わり、考えや意見を聞くことができたか。(主体的に学習に取り組む態度)【メモ】</p> <p>○感謝の気持ちを述べるだけでなく、外国人講師の方との交流を通して、新しい発見や考えの変容があったことを伝えるよう助言する。</p> <p>○新しい発見や考えの変容があったことは必ず書くよう助言する。</p> <p>㊦外国の方との交流を通して、その国の良さや特色、日本との違いなどに気づくことができたか。(知識及び技能)【振り返りカード】</p>	振り返りカード
----	---	--	---------